

科目コード 126007a 配当学年 3・4

科目名 芸術情報論

教員名 大森 淳史

【授業の目的】

ICT時代の芸術情報の現状とその課題について知る。

【授業の到達目標】

- ①インターネットを流れるさまざまなアート関係ウェブサイトについての知識を持ち、目的に応じて自由にアクセスし、情報検索ができる。
- ②それらの情報について一定程度の知識を有する。
- ③アート関係情報を整理、編集し、自ら情報発信する意欲と初歩的知識を有する。

【授業概要】

今日、画像や動画を含む膨大な芸術情報がインターネットのなかを流れている。官民双方からそれらの情報を統合する試みも行われてきている。その現状とそこに存在する問題について考える。デジタル技術とインターネットの進歩は、権利問題にも重大な事態を生じさせている。ホットな著作権問題と自由な文化のあり方についても考察する。授業は、コンピュータ教室で各自端末の画面を確認しながら行われる。2～3回に一度課題を課す。

【準備学習】

配布資料の確認と教員作成のリンクページを利用して、授業で参照したアート関係サイトの中身を検証する。課題をこなす。

【授業計画】

1. オリジナルとコピー：インターネット時代のアート情報
2. アート系ウェブサイトの分類および関連する基礎用語の解説
3. 美術館・博物館のホームページに公開されるデジタルアーカイブ（東京国立博物館他国公立美術館）
4. 美術館・博物館のホームページに公開されるデジタルアーカイブ（和泉市久保惣記念美術館他私立美術館）
5. 美術館・博物館のホームページに公開されるデジタルアーカイブ（ルーヴル美術館他海外の有名美術館）
6. 美術館所蔵作品データベース統合の試み（ジョコンドデータベース、文化遺産オンライン他）
7. 巨大IT企業と世界中の美術館とのコラボ：グーグル・アーツ・アンド・カルチャー
8. インターネット上の画像データベースとしての「ヴァーチャル・ミュージアム」：web gallery of art、Artcyclopedia他）
9. アート総合情報サイト
10. 特定のアーティストに関するサイト
11. メディアアート系サイト
12. 著作権について
13. 仮想の展覧会の企画（企画構想、テキスト作成、画像取得、画像処理）
14. 仮想の展覧会の企画（エクセルによる画像データベース作成）
15. 到達度の確認

【評価方法】

＜評価方法、割合＞

平常点（課題）50％・到達度の確認50％

＜到達目標との対応＞

- ①到達度の確認、課題
- ②到達度の確認、課題
- ③到達度の確認、課題

【テキスト】

使用せず、毎回教員作成のテキストをプリントにて配布する。  
（テキスト ISBN）

【参考文献】

適宜指示する。

【オフィスアワー】

随時相談に応ずるが、一応予定を確認のこと。

【担当教員からのメッセージ】

講義には特別な理由のないかぎり毎回出席し、真摯な態度で聴講し、講義内容の理解に努めること。理解しづらい点があれば、積極的に質問すること。

【履修上の注意】

【ディプロマ・ポリシーとの関係】